

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス スタースマイル				公表日	令和 7 年 2 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6人	2人	活動内容によって静養室と学習室を分けて使用できるようにしており、一つの部屋に大勢いないようにしています。	長期休み時の児童発達支援と放課後等デイサービスの利用スペースを見直していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7人	1人	患者に対してすぐに対応できる人数配置を行っており、戸外活動を行う際は職員が多めに行くことで事故がないようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8人		室内やトイレはバリアフリー化されており、車椅子でも生活しやすい環境づくりを行っています。また、特性に応じて写真や絵カードを使って見通しが持てるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8人		子どもが来所する前に、毎日の清掃と玩具類の消毒をし環境整備を行っています。	静養室に荷物が置かれている為、カーテンなどで仕切りをつけて区別できるようにしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8人		現在、事務所以外のどの部屋も開放し利用することができます。	自由に使える為、時間帯によって目が行き届きにくいことがあるので時間を決めて部屋を開放するなど検討します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7人	1人	朝礼時に、前日の振り返りや情報共有を行い、月に一回の職員会議にて検討し改善点の話し合いを行っています。	PDCAサイクルと言った形式ではできていません。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8人	8人	保護者にアンケートを配り、出た意見を職員全体に把握を行い、実施が行えるように務めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8人		個別の話し合いであったり、職員だけの会議などから意見を出してもらい、改善できるところは改善しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8人	8人		外部評価はできていません。今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8人		外部研修、内部研修、ZOOM研修などなるべく研修に参加し資格取得なども積極的にを行っています。	職員配置により、今後回数が減る可能性があります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8人			現在作成中です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8人		普段より保護者からお話や情報、ニーズを聞き取り職員間で話し合いを行っています。自発管以外にも担当者を作っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8人		自発管とそれぞれの担当者が話し、計画を作成したのちに、全員と話し合い計画を決定しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8人		支援目標は分かりやすいように、ファイリングし見やすくしています。個別支援計画書をもとに子どもに合った支援内容を日々取り入れています。	項目が増えた為、どのように見やすくするか検討中です。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8人	8人	アセスメントを活用し、子どもの状況を把握できるようにしています。	ツールを用いたアセスメントができるように検討していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8人		児童支援ガイドラインに沿ってそれぞれの項目に子どもの特性に合わせた支援目標を作成、具体的な支援内容を職員間で話し合い、保護者にも説明し支援を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8人		週案や日案を朝礼で伝え、全員が把握できるようにしています。また長期休暇や日々の活動内容は職員で月一回話し合い、決定しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7人	1人	週の担当職員を決め、季節の行事を取り入れたり、子どもが飽きないようなプログラムを決めています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8人		その日の子どもの状況に合わせて集団活動、個別の活動を行い負担が無いように配慮しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8人		毎日の朝礼にて、一日の流れやその日の担当活動内容、子どもの動き等を確認し役割分担しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7人	1人	次の日の朝礼にて、子どもの様子を話し合い、職員間で振り返りを行い気付いたことを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7人	1人	子どもに付いた職員がその日の記録を残し、記録の振り返りを行い個別支援に生かせるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8人		半年に一度モニタリングを行い、日々の取り組みや利用状況、子どもの成長について保護者と話し、必要時計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8人		ガイドラインに沿って組み合わせています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8人		活動内容の選択が出来る日などを取り入れ、本人に決めてもらっているようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8人		基本的には児童発達支援管理者が出ています。必要に応じて言語聴覚士や看護師が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8人		近くの病院に協力医療機関を頼んでいます。保険センターなども活用させて頂いています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7人	1人	下校時間の変更などホームページFAXで確認や、迎えに行った際にその日の状況を先生に確認するなど情報共有や連絡を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6人	2人	利用を開始する前に担当者会議などに参加して、利用児童の情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2人	6人		現在までに対象の方がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6人	2人	見学や研修をさせて頂き支援に活かしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6人	2人	地域のイベントの参加や公園で、地域の子どもと触れ合う機会があります。	現在、交流の回数は少ないので積極的に参加できるようにしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4人	4人	子ども部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8人		送迎時にその日の出来事を伝えるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2人	6人	ご家族が参加できる研修等の情報がある時は発信しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8人		運営規定は事業所の玄関に設置しており、支援プログラムにおいては今後公表予定です。利用者負担は契約時や必要時、追加説明していきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8人		利用状況や家庭、その他の状況から本人の意思を尊重して支援できるようにしていきます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8人		原案をみてもらいながら説明しサインをいただくようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8人		ご家族の悩みなどを、面談や電話にてご希望される時に適時行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5人	3人	親子、兄弟も参加できる会を実施しています。	現在が年に一回程度の活動なので、今後増やせるように検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7人	1人	苦情発生時は担当者が対応し話を聞き、その後職員と共有、改善できる点については改善しその説明を行います。	苦情や相談用紙の配布を検討しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8人		毎週SNSの更新、毎月通信を出しています。行事予定も利用希望調査票に記載し配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8人		得た情報については文書の場合は鍵付き車庫、データについてはパスワード管理にて保存しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6人	2人		現在、対象の方がいません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8人	事業所の見学の受け入れを積極的に行っています。また、地域の行事に参加しています。	今後、当事業所でなげ出来るか検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6人	2人	毎月、職員間で確認・修正をしています。マニュアルに関しては事業所の玄関にいつでも見れるように設置しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8人		業務継続計画を策定し定期的に訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8人		てんかん発作時の対応、定期内服などについては内容まで確認し対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7人	1人	アレルギーについては把握できるように表を作成し、すぐに確認できるようにしています。	医師の指示書がある子どもさんは現在いません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8人		安全計画に基づいて研修、訓練を実施しています。訓練は子どもも参加し、訓練後は振り返りをして見直しなどを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8人		安全計画についてはホームページへ記載しています。訓練等の実施は、毎月の利用希望用紙に記載し実際の様子はSNSにて発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7人	1人	ヒヤリハットが出た場合は全員に周知し、毎月の職員会議にて振り返りを行っています。	長期休み期間は忙しさから、ヒヤリハット報告が少ない為、職員に声掛けし振り返りを行うようにしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8人		三ヶ月ごとに虐待防止に関するアンケートと年に一回研修会を実施し、予防に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7人	1人		現在、対象の方がいません。	